



ジュニアミーティングに参加して



佐藤 叶和さん
(南方中3年)

ジュニアミーティングに参加して、自分が関心を深めるだけでなく、周りの人にも関心を持ってもらうことが大切だという意見が印象に残っています。南方中学校の文化発表会で、ジュニアミーティングで学んだことを発表しました。

最近、夏の気温がとても高く、部活動が中止になることが多くなってきました。温暖化の影響を肌で感じていて、深刻な問題だと思います。これからも、多くの人に関心を持ってもらえるようにしたいと思いますし、家では資源ごみの分別などに取り組んでいきたいです。



昨年のジュニアミーティングでは、市内の中学生30人が地球温暖化やカーボンニュートラルについて意見を出し合った

地球温暖化は、世界規模での対策が求められている最も深刻な環境問題の一つです。大気中の温室効果ガスが増加した結果、地球の平均気温は上昇の一途をたどってきました。その影響で、気候変動による異常気象が観測され、豪雨、干ばつ、猛暑といった極端な気象現象が各地で発生。私たちの暮らしや生態系に大きな影響を及ぼしています。

二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの排出量を削減し、産業革命前と比較して、平均気温の上昇を1.5℃以内に抑えることが世界の共通の目標に設定されました。この目標を達成するため、日本政府は、2050年までに温室効果ガスの排出量をゼロにする「カーボンニュートラル」を実現することを宣言。本市も、市民、事業者、行政が一体となって市内の温室効果ガス排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」を表明しました。

温室効果ガス排出量は約85万2千ト。短期目標として、まずは30年までに半減させることを目指しています。そこで市は、地球温暖化問題への意識啓発、再生可能エネルギー設備や電気自動車の購入支援などのほか、中学生を対象に、環境問題について考える「ゼロカーボンシティとめジュニアミーティング」を開催。次世代を担う子どもたちに、環境問題への関心と理解を深めてもらおうと、取り組みを進めています。

温室効果ガスを完全にゼロにするということではありません。「工場や家庭から二酸化炭素が排出されても、森林などによってその二酸化炭素が全て吸収されれば、差し引きゼロになる」というイメージで、よく耳にする「脱炭素」や「カーボンニュートラル」と同じ意味で使われます。

ゼロカーボンは、当然ながら国や自治体の努力だけで目標を達成することはできません。登米市を持続可能で暮らしやすいまちにするために、日常生活の変化が私たちに求められています。

止まらない地球温暖化 市はゼロカーボンシティを表明

こうした状況に対応するため、

本市が基準にしている13年度の



特集 日常からの脱炭素

皆さんは、脱炭素やゼロカーボン、カーボンニュートラルという言葉聞いたことはありますか。地球温暖化は問題だと分かっているけど、世界規模の大きな問題だから自分一人が何かしたところでどうにもならないと思ってはいないでしょうか。しかしそれは、誰もが無関係ではられない問題なのです。今号は、ゼロカーボンを達成するために必要なことを考えます。